

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区亀戸6-31-1 プラウドタワー亀戸クロス ゲートタワー2階3階
施設名	ポピンズナーサリースクール亀戸

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

多文化理解を軸にした探究活動

〈テーマの設定理由〉

子どもたちが自ら興味を持っている言語や歌を通じて、英語や多言語の基礎表現に親しみつつ、日常で触れる物や表現など文化や共通点を学びながら、子ども主体で国境を越えた多文化理解に繋げたい。

2 活動スケジュール

①2025年6月26日【クラス活動】

目的：世界の挨拶を知ろう

方法：対面、絵本

②2025年7月30日～11月21日【クラス活動、グループ活動】

目的：身近なものから世界の言語に触れよう（乗り物、食べ物、生き物）

方法：対面、絵本

③2025年12月22日【クラス活動】

目的：いろいろな国の楽器に触れよう

方法：対面、楽器

④2026年1月31日【生活発表会】

目的：音楽を通して世界の文化を知ろう。

方法：別会場にて、発表会形式

⑤2026年1月21日～2月26日【文字に興味を持つ】

目的：大切な人に思いを伝えよう

方法：クラス別活動（4,5歳児対象）

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・世界の物語に触れるための絵本
- ・楽器、地球儀、地図、図鑑
- ・世界の言語に触れるための活動

#### 4 探究活動の実践

##### 〈活動の内容〉

- ・食べ物、自然、動物など、子どもたちの身近なものを入口に、様々な国を知る。
- ・絵本の物語を通して、様々な文化を知る。その国を身近に感じ、興味を広げる。
- ・世界の文化に触れるとともに、今自分たちが住んでいる国に関心を広げる。
- ・保育者の読み聞かせを通して様々な国の言語に触れる。遊びや生活の中でその言語を使い、自分の気持ちを表現する。

##### 〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・平仮名と同じようにアルファベットにも興味を示し、一人ひとりが自分の思いをメッセージにして表現した。日頃から親しみのあるものをテーマにしたことで、子どもたちが「見たことある」「知ってる」「好き」という気持ちで安心して取り組み始めた。絵本や図鑑等を用いて世界の乗り物・食べ物・生き物についての知識を深めるに連れて「どうして日本にはないの?」「寒いところだから」「海の近くだから」と、想像を広げながら会話を楽しむ姿が見られた。
- ・海外発祥の物語の世界に触れ、自分たちなりの物語にアレンジして表現活動を行う活動に繋がった。



#### 5 振り返り

##### 〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・子どもたちに世界の文化を知ってもらう機会になった。元々知っていることに、絵本や図鑑で調べることで更に知識が加わり、興味が深まっていくことを感じた。
- ・子どもが知りたいと思ったり興味を持った表情を見逃さないよう丁寧に観察することを心がけた。遊びを通して色々な経験や挑戦をしたいと思えるようにしていきたい。
- ・子どもたち自身の言葉で「ありがとう」「だいすき」の気持ちを表現した瞬間が素敵だった。今後も相手に気持ちを伝える方法を自分たちで見出したり、日本や世界の様々な文化に触れていって欲しい。